



一歩進んだ安心・安全の 仕組み作りに向けて

先月からスタートした、セーフコミュニティだより。これから、実際のセーフコミュニティ活動を紹介していきますが、この活動は、実はまったく新しいことを始めるわけではありません。

今回は、セーフコミュニティ活動が、今までの安心・安全活動とはどのような違いがあるのかを比較しながら、紹介していきます。

セーフコミュニティ活動は 新しい活動ではない？

セーフコミュニティ活動は、新しく特別なことをするものではありません。現在、さまざまな団体の皆さんが取り組んでいる、安心・安全活動を次の2つの視点に基づき、より質の高い活動にすることを指すものです。

①科学的な分析による「予防」

現在、交通安全や防災訓練、健康づくりなど、安心・安全な暮らしのためにさまざまな活動が行われています。これらの活動は、ケガや事故の予防に大いに役立ついるものです。

さらに効果を上げるには、このような取り組みが、実際にどのくらいケガや事故を防ぎ、安心・安

全な暮らしにつながっているかがポイントになります。その根拠となる原因を確認して、必要に応じて改善をしていこうと考えるのが、セーフコミュニティ活動です。

今までの活動は計画・実行がほとんどでしたが、セーフコミュニティ活動は、そこに確認・改善の工程を加えていこうとするものです。

②横断的な「連携・協働」

それぞれの安心・安全活動は、それぞれが特色ある活動ですが、セーフコミュニティ活動では、たくさんの団体の活動を、「セーフコミュニティ」の活動として連携できるようにします。

これにより、それぞれの良さをお互いに知り、協力し合ってさらに質の高い活動にしていくことを目標にします。

「セーフコミュニティ」とは？

世代や障がいの有無に関わらず、安心・安全に暮らせるまちづくりに継続的に取り組む「まち」のことをいいます。この取り組みを、「世界保健機関（WHO）地域の安全向上のための協働センター」が国際認証しています。

「ケガやそれを引き起こす事故などは偶然に起こるものではなく、予防することができる」という理念のもと、科学的なデータに基づく「プログラム」と、地域・行政・警察・家庭・学校などの「横断的な連携」を組み合わせ、事故・犯罪、災害、自殺等の予防に継続的に取り組むものです。

問 地域政策課セーフコミュニティ担当
☎ 22-2823

